

市民と市長の意見交換会

No	日程	場所	質問内容	関係局	回答者	回答
1	H27.7.27	高松市役所13階 大会議室	総合計画のまちづくりの目標2において、学校教育の充実及び学校教育環境の整備を掲げているが、鶴尾中学校の教育環境を充実してほしい。現在、鶴尾中学校の生徒数は、63名で人口が少ない塩江中学校より生徒数が少ない。現状では、部活もできない状況なので、このような状況を解消してほしい。	教育局	教育局長	鶴尾中学校の生徒数の減少については、十分に認識している。 児童生徒数の減少は全国的な傾向であるので、中学校における部活動は、一つの学校で大会に参加できない場合、他の学校との合同チームを編成することを認めており、いくつかの競技で総体などに出場している状況である。 同校の生徒数は減少しているが、今後も、生徒一人一人の学力向上や進路保障、心の教育の推進等に向けて、学校、地域と連携しながら、魅力ある学校づくりに取り組んでいく。
2	H27.7.27	高松市役所13階 大会議室	人口減少を抑制する戦略の話があったが、戦略に位置づけている移住などでは、移住元の地域の人口が減る。 そのため、結婚による人口増加を促進すべきだが、今は仲人をする人などが消えて、結婚相手がみつからない人も多いため、男女を結びつける役割を、誰かが担っていくべきではないか。	健康福祉局	市長	子どもの数を増やすことが人口減少の根本的解決であるため、少子化の要因である晩婚化・未婚化を抑制する施策を推進することにより、少しでも早めの結婚を意識するような機運を醸成し、第2子以降の出産につなげていきたいと考えている。このため、結婚に対する意識や認識を変えてもらうためのハンドブック作成やシンポジウムを開催するとともに、香川県や民間団体と共同した婚活支援等により少子化の対策を図っていきたい。
3	H27.7.27	高松市役所13階 大会議室	総合計画の中の観光振興についてお伺いしたい。2年後の春にJRのディスティネーションキャンペーンが四国で開催されるが、四国及び屋島の観光についてどのように考えているのか。高松駅から屋島山上まで直行バス運行させれば観光客は利用しやすいと考えるがどうか。 また、観光振興と公共交通の促進のため、イコカやスイカなどの全国共通のICカードをことでんやレンタサイクルで使用できるようにすれば良いと思うが、その考えはあるのか。	市民政策局	市民政策局長	屋島は、活性化に向けた各種取り組みを進めているが、観光客数も減少する中、新屋島水族館の閉鎖の動きもあり、しっかりやっつけていかなければならないと考えている。屋島山上の廃屋の処理を一定進める中で、屋島の歴史・文化をもう一度捉えなおすことで、瀬戸内という大きな視野の中での位置づけを持ったものとして活用で大きく捉えようとしている。アクセスの問題もドライブウエーの無料化などの課題に取り組んでいるほか、屋島活性化のための組織づくりとして、各民間団体と行政の協力体制などの議論もはじめている。 また、観光と公共交通をリンクした話を頂いたが、重要な点であると認識している。ことでんのイルカカードによる高齢者の公共交通の割引制度などで成果も出ており、その利用促進を図っているが、公共交通利用促進や観光客の利便性向上につながるかと考える。イルカカードとJRなどのICカードシステムは、相互利用はできておらず、課題であると考えている。
4	H27.7.27	高松市役所13階 大会議室	公共交通や徒歩で生活できるまちとうたわれているが、高松のバス路線は瓦町に集中する放射線状の路線が多く、東西方向、環状になっている路線が少ない。そのため、郊外から郊外へ行く場合でも、瓦町まで一回出なければいけない。東西方向や環状のバス路線をつくり、イルカなどのシステムを利用した乗り継ぎ利用を有効にしないと、車でないと動けない、高松市の公共交通の現状は変わらないのではないかと？	市民政策局	市長	今後、公共交通を再編する中で、JR・ことでんの駅を中心に、フィーダー交通といわれる枝線の交通を充実していく。そのためには電車の利便性を高めることでんの2つの新駅設置と複線化を計画している。今後、車から公共交通へできるだけ乗り換えてもらう方向で考えているので、意見等があればお聞かせ願いたい。
5	H27.7.27	高松市役所13階 大会議室	水道資料館について、創造都市の見地からして、教育・文化の面からも市の貴重な財産として、有効に活用してほしい。 2点目は、職員のコンプライアンスの遵守について、市長の新しいマニフェストでも示されているとおり大切なことである。市民と行政が協働で、まちづくりをしていくには信頼が大変重要であるが、総合計画の中では、コンプライアンスの記述がなく、職員力の向上となっている。その記述では、コンプライアンス遵守の具体性に乏しいのではないかと。	総務局 上下水道局	市長	「職員力の向上」という施策の中に、コンプライアンスの推進についても併せて盛り込んでいたが、市民との信頼回復に向けた最重要課題であることから、いただいた御意見を参考として、「コンプライアンスの推進」を前面に打ち出すよう検討していきたい。
				総務局	総務局長	昨年、参議院選挙事務等の不祥事があり、全国で話題となった。市民の方と協働してまちづくりを進めるには、まずは信頼を回復するため不祥事を起さないことが重要である。また、法令順守に加え自転車に乗っての傘さし運転はしないなどの職員の各種マナーも大切であり、これまではよくてもこれからはだめだということについて、職場から管理職が部下と意思疎通して意識づけることが大事である。また、我々の信頼を取り戻すため、職員が一丸となって市民のため市民の立場で仕事をしようとするため、月2回開催のリスクマネジメント会議などを通じて注意喚起を図っている。今後も各種施策を実施していくので、応援をよろしく願いたい。
				上下水道局	上下水道局長	高松市水道資料館は竣工から100年近くが経過し、基礎部分のひび割れや柱の腐食など老朽化が著しいほか、地震に対する強度も不足しており、どのような方法で保存と活用を行っていくかが課題となっている。 一方で、小学生の校外学習など、本市の水道の歴史を学ぶ場として活用されているほか、近年は婚礼の前写しスポットとしても人気を博しています。 このため、平成26年度に、学識経験者等で構成する「高松市水道資料館保存活用計画策定委員会」の意見をいただきながら、「高松市水道資料館保存活用計画」を策定した。 今後は、同計画に基づき、現状の外観を可能な限り維持しながら、必要に応じて竣工時の姿への復元や室内の改装を行い、文化財や水道施設として歴史を学ぶ場のみならず、地域に親しまれ、市民が気軽に集い、立ち寄りたくなる身近な施設として存続していくこととしている。
6	H27.7.27	高松市役所13階 大会議室	まちづくりの目標で防災・減災の充実とあるが、奥の池下流に住む住民として、江戸時代に築造された同池の管理について不安を感じている。奥の池は常時満水の水位を保っているが、池の管理上不適切であり、堤土のコンクリートの部分にも亀裂が発生している。そのため、周辺住民の安心安全を担保する上で、水位を1/2以下にしてほしい。	上下水道局	上下水道局長	奥の池は本市の貴重な自己処理水源であり、上下水道局が管理をするようになった、平成19年から満水面より1m下がりで運用し、台風などで大雨が想定される場合は、事前に水位を下げていく。また、現在、耐震調査を実施しており、併せて、堤防の亀裂部分の調査も行っており、今後、上下水道局が管理する貯水池等については、早い時期に耐震設計、耐震改修に取りかかりたいと考えている。

市民と市長の意見交換会

No	日程	場所	質問内容	関係局	回答者	回答
7	H27.7.27	高松市役所13階 大会議室	イタリアのダムで、地すべりが起こり、村が全滅した。東日本大震災でも、堤が決壊し8名が亡くなっている。 真剣に安全対策を考えてほしい。	上下水道局	上下水道局長	今後、上下水道局が管理する貯水池等につきましては、早い時期に耐震設計、耐震改修に取りかかりたいと考えている。
8	H27.7.27	高松市役所13階 大会議室	総合計画の中の観光振興についてお伺いしたい。2年後の春にJRのディスティネーションキャンペーンが四国で開催されるが、四国及び屋島の観光についてどのように考えているのか。高松駅から屋島山上まで直行バス運行させれば観光客は利用しやすいと考えるがどうか。また、観光振興と公共交通の促進のため、イコカやスイカなどの全国共通のICカードをことでんやレンタサイクルで使用できるようにすれば良いと思うが、その考えはあるのか。	創造都市推進局	創造都市推進局長	平成29年春のJRによるディスティネーションキャンペーンを好機として、屋島を始めとした本市観光資源の磨き上げを行うとともに、四国規模で周遊できる観光ルートも検討していく。 屋島については、屋島会議を経て、現在、文化財の保全と観光による活用の観点から、その振興を図っているところで、屋島山上への交通アクセスは、JR屋島駅やことでん屋島駅を経由するシャトルバスが運行されており、交通アクセスを含めた屋島全体の情報や魅力を発信していくことで、シャトルバスの利用者増加を図るとともに、屋島山上の賑わいを創出していきたい。
9	H27.7.27	高松市役所13階 大会議室	総合計画で、防災・減災の充実を掲げているが、鶴尾神社4号墳でのトンネル工事の残土処理で、普通は低い場所に移すが、残土を海拔60mの場所に土盛りしている。危険をおよぼす土砂災害が懸念される中で、現状の危険な土盛りを、市長の英断で、他の工法にしてほしい。市議会でも、二川議員の質問に対して地元自治会と協議しながら対応するとの答弁があったが、市長の英断による崩落防止をお願いしたい。 なお、現在、1/3が崩落している。	創造都市推進局	市長	鶴尾神社4号墳は、国の史跡に指定されている貴重な文化財であるが、現在、碎石により後円部の約1/3が崩落していることから、本市では平成21～23年度に盛土による保存対策工事を行い、約1/3の高さまで工事を実施した。盛土工事にあたっては、工法を工夫するほか、専門家の意見を聴くなど安全を期しているが、良質な残土がまとまって発生するときは、地元の説明させていただき、安全性等に御理解をいただいた上で進めていきたい。 なお、古墳下の崖面は、盛土工事により高さ約63mから約42mとなったものの、崩落の可能性があることから、現状を確認しながら、その対策を検討したい。
10	H27.7.27	高松市役所13階 大会議室	前回の台風で、水防本部は機能しておらず、電話をかけても何も対応できていなかった。総合計画の中で、防災・減災対策と書かれているが、現状では台風時の道路の冠水やため池などの水害対策も十分できていないと考える。災害時の対応をどのように考えているのか？ また、人口減少をいとめるめるとあるが、今いる子供たちを安全に育てるといふことに、力を入れてほしい。	総務局	市長	平成16年の台風災害による高潮や河川洪水などの被害を受けて、防潮堤や河川の改修などのハード整備を進めているほか、災害情報や避難に関する情報などを、市民の方へ伝達する手段として、防災行政無線の整備を行っている。 災害時には、的確な情報収集を行い、迅速かつ適切に対応するほか、正確な情報を発信していくことも、行政として必要なことであり、また、合わせて、地域の防災力の向上を図り、いざ、災害が発生した時には、地域においても、早期に防災活動への取組を行っていただけるようにしておくことも、大事であると思っている。 なお、7月に本市に接近した台風11号の対応で、水防本部への意見等があれば、具体的な内容をお伺いしたい。
11	H27.7.27	高松市役所13階 大会議室	土嚢についてだが、現状では指定場所まで土嚢を取りに行く制度となっているが、年寄りなどは運べない。また、今回、避難所が開設されていたが、避難勧告と避難警告の違いがよくわからず、困惑した。ほかに、防災ラジオの音が非常に大きく、うるさいため普段スイッチを切っている人もいるが、音量を下げるなどの対応はできないのか？土嚢の配布場所も、コミュニティなどに協力してもらい、近い場所に設置してほしい。	総務局	市長	災害時には、自助・共助・公助の役割が求められると考えている。自ら土のうの作成が困難な場合や運べない場合などにおいては、自主防災組織など地域で協力し、助け合って災害に備えてほしい。 また、避難に関する情報については、災害対策基本法により、避難準備情報、避難勧告、避難指示を市長が発令することになっており、発令を変更することはできないが、住民の方へ情報発信する際には、わかりやすく情報をお伝えしていきたい。 防災ラジオの音量について、災害発生時などに流れる緊急放送という特別な放送が、聞こえない又は気づかないということにならないよう、自動起動する際、最大音量で鳴るよう設定しており、災害時の生命と安全を守るための防災ラジオの性質上、何卒御理解のほどよろしくお伺いしたい。
12	H27.7.27	高松市役所13階 大会議室	太田地区で、1,000坪の土地を購入し、防災公園を整備している。鶴尾地区の御殿自治会にも使用していない大きな市有地があり、ぜひこの土地に防災公園を整備してほしい。	都市整備局	市長	本市では、平成22年9月に第2次高松市緑の基本計画を策定し、「1小学校区1公園」の整備を目標としており、太田地区は、公園のない小学校区への街区公園整備であり、特段の防災機能を持つものではない。 防災公園については、高松市地域防災計画において、1ヘクタール以上の公園とされており、指摘のあった市有地については、面積要件を満たさないと考えられる。
13	H27.7.27	高松市役所13階 大会議室	太田地区で、1,000坪の土地を購入し、防災公園を整備している。鶴尾地区の御殿自治会にも使用していない大きな市有地があり、ぜひこの土地に防災公園を整備してほしい。	都市整備局	都市整備局長	本市では、平成22年9月に第2次高松市緑の基本計画を策定し、「1小学校区1公園」の整備を目標としており、太田地区は、公園のない小学校区への街区公園整備であり、特段の防災機能を持つものではない。 防災公園については、高松市地域防災計画において、1ヘクタール以上の公園とされており、指摘のあった市有地については、面積要件を満たさないと考えられる。
14	H27.7.27	高松市役所13階 大会議室	総合計画のまちづくりの目標5の拠点性を発揮する都市機能の充実の中で道路整備の項目がある。しかし、都市計画道路の木太・鬼無線は、ほとんどの工事は終わっているが、御殿橋からトンネルまでの100mの区間は未整備である。状況等説明してほしい。	都市整備局	都市整備局長	木太・鬼無線は、市議会でも説明したとおり、当初は平成25年の開通を計画していた。しかし、地権者の理解が得られていないため、トンネル付近の工事が止まっている。当該地権者には、境界確定などの協力も得られないので、立会いによらない法務局での境界確定の手続きや収容の手続きを着実に進めている。今後、土地が確保できれば、2年もかからず工事は完了すると思われる。

市民と市長の意見交換会

No	日程	場所	質問内容	関係局	回答者	回答
15	H27.7.27	高松市役所13階 大会議室	意見なので答えなくてよいが、トンネルのすぐ東側に昨年、防火貯水槽ができています。しかし道路ができていないため使用できない。1日も早く道路を完成させて、防火貯水槽を有効に活用してほしい。税金の無駄遣いのように思われる。	都市整備局	—	—
16	H27.7.27	高松市役所13階 大会議室	資料中に、たくさんの方が住み続けられるとある。宮脇町は、1914年に高松市と合併した第1号であり、墓地や古墳、市民病院など地域の財産を見直して、住みたい・住み続けたいまちとしていきたい。市民病院移転後の跡地利用についても同様であるが、情報が入ってこない。聞いたところによると当該跡地は、土砂災害等危険区域に該当するため、マンションなどの居住施設は建設できないと聞いている。香川県中央病院も移転後の跡地利用は進んでいないように見受けられる。市民病院の跡地利用は、できるだけ地元全体に説明し意見を聞くような機会を設けて頂き、活用検討について住民も参画させてほしい。	病院局	市長	地元の意見もお伺いしながら、対応等を決めていきたい。